

## 実践例「学校・学級経営の深化・充実」

「課題3 地域に根ざし、家庭や地域と連携した体験活動を通して、豊かな心を育む教育活動の創造・推進」

### I 学校名 標茶町立塘路小中学校

### II 学校の概要

本校は、全校児童生徒数19名で、小学校は、1, 2年複式学級、3, 4年複式学級、5, 6年複式学級、特別支援学級2学級で編成し、中学校は、1, 2年複式学級、3年単式学級で編成されています。地域には、釧路湿原国立公園が校区に隣接し、釧路川や塘路湖など、豊かな自然に囲まれた地域です。

サルボ展望台から見た塘路湖



9月からは塘路湖で採れるわかさぎ漁が始まり、地元名産の「わかさぎの佃煮」を求めて、塘路まで足を運びピーターも大勢います。

また、残されている資料によると、江戸時代末期には、周辺では最大級のアイヌの集落があり、香川県から入植してきた人たちなどと、共存、共栄してきた歴史があります。塘路湖で採れる「ペカンペ（菱の実）」を祭る「ペカンペ祭り」が地元のアイヌを中心に行われてきた歴史もあります。（現在は行われていない。）

観光資源として釧路川のカヌー体験や、学習資源として、標茶町博物館やネイチャーセンターが校区内にあるので、1年中といっても大げさではないほど、様々な体験活動が教育課程に盛り込まれています。



### Ⅲ 実践事例

#### 1 ふるさと塘路で大切にされてきた「ペカンペ」をテーマに探究する活動

塘路を題材にテーマを決めた探究活動が、小学校3年生から始まります。小学校段階では、学級でテーマを決めますが、中学生になると、個人個人でテーマを決めて探究活動を行っていきます。

今年の3、4年生のテーマは、地元の塘路湖で採れる「ペカンペ」について探究しています。漫画の「ゴールデンカムイ」でも主人公達が塘路湖を訪れ、「塘路湖のペカンペ」として登場しています。

テーマ設定のきっかけは、校章にペカンペが描かれていることを、朝会の学校長の講話から再認識し、「なぜ、ペカンペは校章に描かれるほど塘路にとって大切なものなのだろう。」という疑問からでした。塘路漁業協同組合の協力の下、ボートに乗ってペカンペを採取したり、ペカンペのお汁粉を作ってみたりなど、まずは、ペカンペとはどんなものなのかを、体験を通して知るところから探究活動は始まりました。

5、6年生は、10月に行われた文化祭で、「ペカンペを追い求めて地球を征服するために飛来した宇宙人と、塘路小中学校の児童生徒との友情をとおして、地球と人間との共存共栄」をテーマに描いた劇の台本を、児童だけで制作し、感動的なステージ発表となりました。

中学生の1名は、「ペカンペを用いた染め物」にかかわる研究を3年間通して行い、実験や検証を通して、学びを深めています。

ペカンペと塘路アイヌの関わりは深く、郷土研究家の文献や、映画「森と湖の祭り」などの作品にもたくさん残っているので、標茶町博物館にも協力いただきながら、子ども達がふるさと塘路に興味と愛着をもって学びを深められるよう、支援しています。



## 2 豊かな自然を生かした体験活動

### ① カヌー体験

標茶町の事業として、全小学6年生が体験できるようになっていますが、それに合わせて、塘路振興会の補助を受けて、塘路の小中学生は、小1から中3まで3年に1度はカヌー体験をすることができます。釧路川を下ると、エゾシカやタンチョウ、キタキツネやオジロワシなどの野生動物を間近に見ることもできて、釧路湿原を満喫することができます。



釧路川下り中に姿を現したタンチョウ

### ② 地引き網体験

塘路湖で採れる魚類を調べる活動を、3年に1度（①カヌー体験②地引き網体験③ザリガニ駆除体験）行っています。コロナ前は、捕れた魚をその場で焼いて食べるなどのレクリエーションも兼ねていました。ワカサギの佃煮など商品化されている水産資源が、塘路湖ではどのように生息しているか、間近に感じることができる体験です。



### ③ ワカサギ釣り体験

塘路の児童生徒は、毎年行っています。氷の張った塘路湖に釣り用の穴を開けて、釣り用のテントの中で糸を垂らして待ちます。コロナ前は、つれたてのワカサギを、天ぷらにして食べる楽しみもありました。



#### ④ ザリガニ駆除体験

外来種であるザリガニの塘路湖での繁殖を抑えて、在来種であるワカサギを守るために  
行っている活動です。ザリガニ駆除と合わせて、湖上に浮かぶペカンペを採取して、皮をむ  
いてゆでて食べる活動も、コロナ前には行っていました。



## IV 今後に向けて

### 1 人財バンクの構築

人財バンクを作成し、教員が変わっても地域人材との糸が切れないようにしていく必要  
があります。しかし、地域住民の高齢化が課題となっています。

### 2 塘路ふるさと教育の全体計画作成

総合的学習の時間を中心に展開される「ふるさと塘路」のテーマ学習が、各教科や行事等  
などどのように関わり、子ども達にどんな資質・能力を育成するために役立っているかな  
ど、構造的に捉えやすくなる全体計画の作成に着手しています。

### 3 さまざまな課題に向き合いながら

今後、欠学年が増加し、休校から閉校に向けた協議が始まろうとしています。これまで紹  
介した「ふるさと塘路」をテーマに探究する学習は、この地域にある学校の児童生徒にしか  
できない、歴史的な価値のあるものです。地域住民の高齢化や過疎化など、様々な課題を抱  
えていますが、今いる子ども達には、ふるさとに根ざし、家庭や地域と連携した塘路ならで  
はのダイナミックな体験活動を通して、豊かな心を育ていけるよう、日々、知恵を絞りな  
がら教育活動を行っています。